

Iwatani



(東京グリーン水素ラウンドテーブル 資料)

水素事業のご紹介

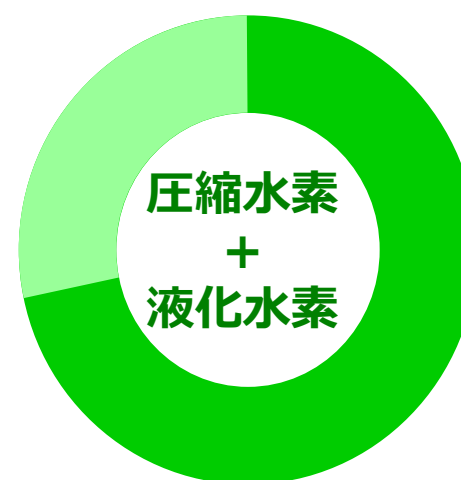
岩谷産業株式会社



当社の水素事業について

- 1941年** 水素の販売を開始
- 1958年** 水素の製造工場を設立
- 1960年代** 水素トレーラ・ローダを製造
- 1970年代** 液化水素の輸送に成功
- 1980年代** H-1ロケットへ液化水素供給
液化水素ローリの開発
- 2000年代** 国内最大級の液化プラント
“ハイドロエッジ”稼働開始
水素ステーションを続々と建設

国内販売シェア



岩谷産業 約**70%**



岩谷産業 **100%**

水素を安全に取り扱うノウハウを蓄積

圧倒的シェア

当社の水素事業について

施策 液化水素サプライチェーンの構築

液化水素製造拠点

- 液化水素の販売増加にあわせた製造能力の増強

1Line=3,000L/h
(約2千万m³/年)



岩谷瓦斯 千葉工場
(千葉県市原市)

- 2009年:稼働開始

1Line



山口リキッドハイドロジェン
(山口県周南市)

- 2013年:1Line 稼働開始
- 2017年:1Line 増設

2Line



ハイドロエッジ
(大阪府堺市)

- 2006年:2Line 稼働開始
- 2020年:1Line 増設

3Line



水素プロジェクト

- CO₂フリーで競争力のある水素源の獲得

豪州褐炭プロジェクト

CCSでCO₂を大気に放出しない



豪州

日本

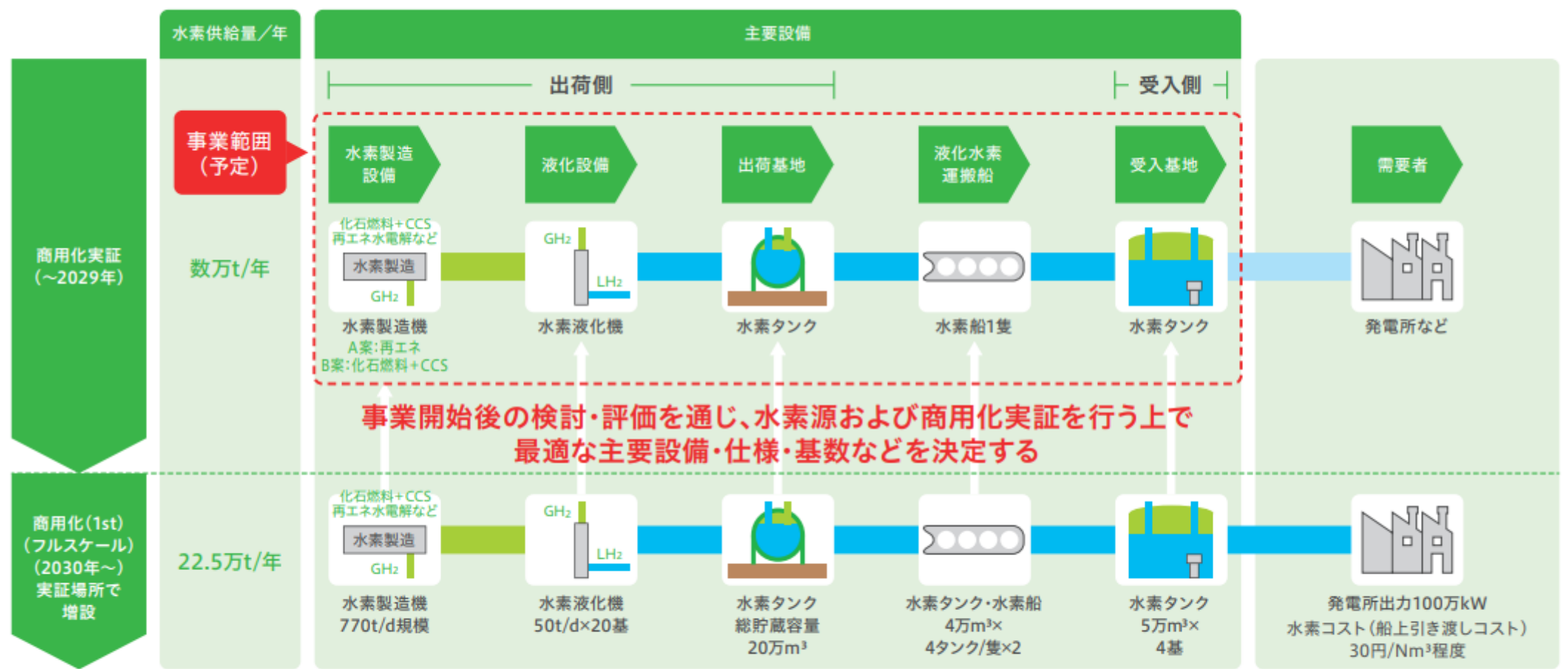
福島新エネ構想プロジェクト

再生可能エネルギーでのCO₂フリー水素製造



当社の水素事業について

商用化実証プロジェクト(グリーンイノベーション基金)



出典:日本水素エネルギー(株)など

●事業の目的・概要

2030年30円/Nm³(船上引き渡しコスト)の水素供給コストを達成に向けた液化水素サプライチェーン構築のための商用化実証事業

●事業期間

2021~2029年度(9年間)

●実施体制

日本水素エネルギー(株)(幹事企業)^{*}
ENEOS(株)、岩谷産業(株)

^{*}川崎重工業(株)の100%子会社

当社の水素事業について

■ 水素ステーション事業の拡大

岩谷産業

現在
(2022年3月末時点)

53カ所 ※一部建設中

北陸圏 2カ所

関西圏 14カ所

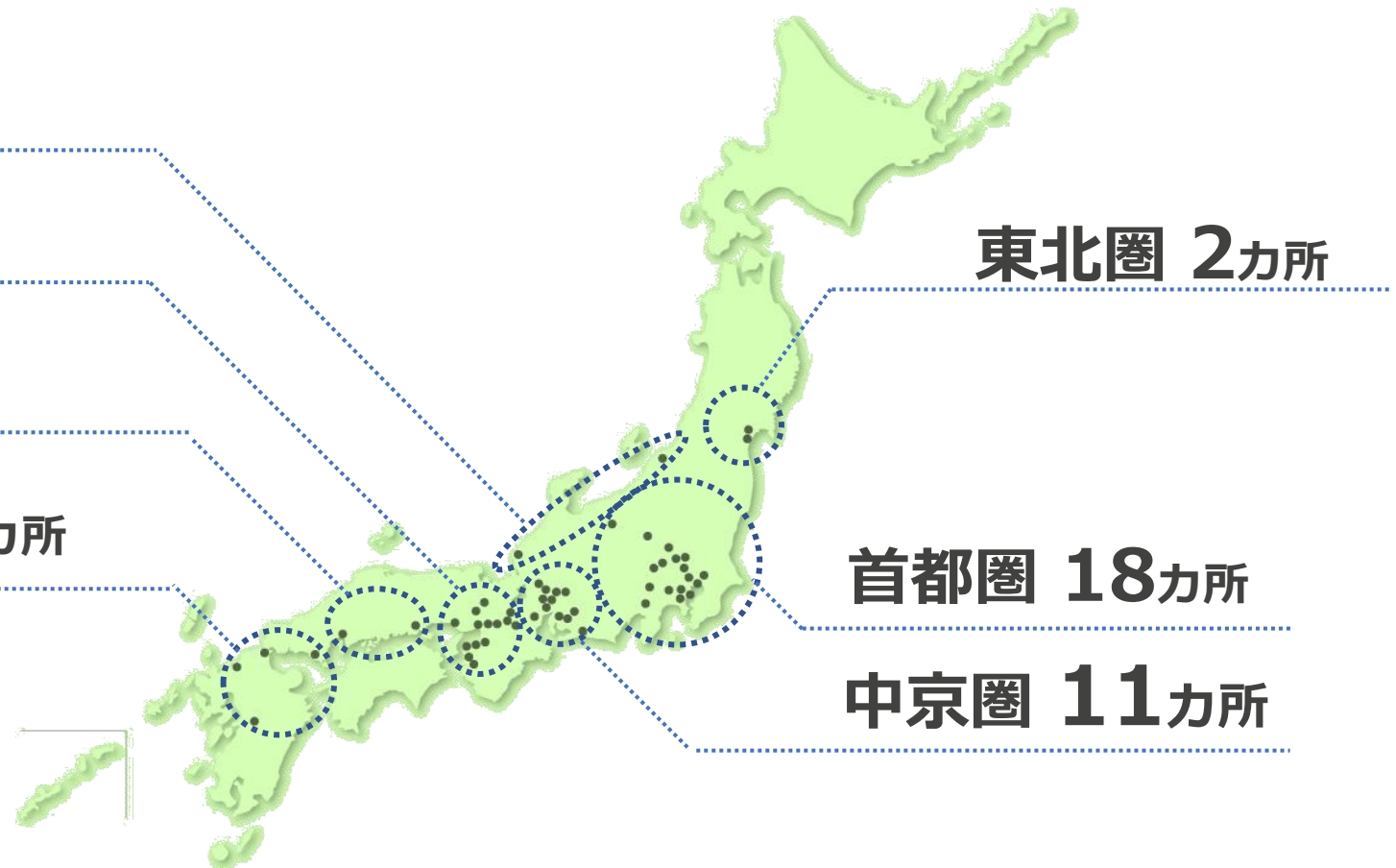
中国圏 2カ所

北部九州圏 4カ所

東北圏 2カ所

首都圏 18カ所

中京圏 11カ所



当社の水素事業について

■ 東京都内の当社水素ステーション



- ・東京都内で8カ所建設・運営
- ・東京都の燃料電池自動車用水素供給設備整備事業（建設費補助、運営費補助）を活用

■ 米国カリフォルニア州 4カ所の水素ステーション運営



当社の水素事業について

■ 大阪・関西万博で水素燃料電池船を運航

水素燃料電池船（イメージ）



運行コース（案）



概要

- ・総トン数 : 110～130トン
- ・定員 : 150名
- ・燃料 : 水素・バッテリー併用
- ・速度 : 10ノット
- ・航行距離 : 約130km

夢洲－天保山－USJ間にて運航予定

Iwatani
岩谷産業株式会社